



門木加2
簿 629
卷 2

河の志波



うの部

うの

うかひて

譯

フガツイテ

定らぬま
まなま

うかひづる

新

ウイテ出ル

ウキアカル

うかひのち

様

う

くひのとき

あとの

孟津よ解る所の詞
の義すしそ不叶

うけむりて

新 リムカズニ

譯 オニハレテ

根

相五ウこゝめたらひてうけこらちかゝく候つらべまふ事
意之河海は諾承諾の心おぬの心よ也と見え拾遺よ人のけ
こむぬ意とてつらまこし言の本の意ハ人よけらる方
よりおこらもあえけきこつていこる意ぶちらけりも然らむ

むる

新 ウケアケ

うけひ

材

圖誓約又祈の字ふと日本記
は訓しや法をの意いのちよとて

うけ

け

譯 ノロウ

うけひらんうけ
ふとまらう河

うけむりけ

材

買人
をの

ろふ

新 ノロウヤウニ

うけひ

新

シヤウイニスル

ナツトクスル

譯 兼引スル

うけこらる

新

ヤクニツク

うけたまをるぬ

例 兼知仕

うげある

新

シキソウナ

後ふつりのうげなる
すまふれどあり

答より
けたる

うこ

うこんのつぎのやれある

材

右近司は近衛
有ありとのある

中やハ左衛の夜行して宮中をめぐり
勢を衛する義之
亥子の刻ハ左近の司也宣右近の司れめ
くくくをまね

卯
子

う

うーろめ

譯

うーろめ

ウサシナキガユルセヌ手放

シテハヤシラレル

新

カタ心ニカレ

うーろめ

新

キガ

リナ コロガリナ

うーろめ

材

相 河海は影護
和んんもとあす

あゝと笑云和名は影護の字あり凡うやれ
熊藝の字和名は出さずま真名伊物は後目痛と唇り

格

相 河海は影護
和んんもとあす

之和名よ令くは字ありしうは河の後目痛と唇り
うーろめ

うーろめ

材

うーろめ

うーろめ

新

コロガリ

カナイ

譯

キツカヒゲガナイ

うーろめ

うーろめ

新

キガリニナイ

コロツカイモナイ

うーろめ

材

うーろめ

後見

新

コロケン

譯

ウエロダテ

後見

うーろめ

新

コウケニスル

うーろめ

梯

うーろめ

うーろめ

む 新 こヒツカケテセワヤク セワラヤク 譯 トリモツ

ろ 下 譯 ウミロツキ 新 ウレミウナイニキナ

し ちよ 新 サキグセル 人をあまらふ人 フニジツスル 新 ち

新 キカツマル 林衛 ち

ら び

ら す き 柳 權 こどもあはれさむげあつけりひびききこて
いぞきてもえあけやらびとあつ 袂さるひびきき

下のすはつま 春^{ウスツキ}あはれのちえてふつこや
あしやうまや 己すむくてふるふるく
うまづく 新

フルイ^{くマハツ} みうとあはれさむげあつけりひびき
いぞきてもえあつ 源 權 さむげあつたま 譯 源氏 權 卷

いぞきてもえあつ 源 權 さむげあつたま
同 一 洞^まいそきま 一 下^まあつたま 一 川^いと 一 殊^まよく 通
ふき音 新 ころすくあつ 新 ソエニナ 新 ころする 新 ニヌル 新 ころすく

み ころも 新 キチウノキモノ 柳 葵 うまうあれはうすく衣
あしけれりあつ 妻の服あ

り 三月^{ミツキ} 新 ころまく 新 ウツガマフ 川 滝 澗 ち
かきうとす ちよよあつ

うた

うたて **新** エシモナイ **枋** うしてや云河内はああり奇
偉の字や日本記ようしてある

やよと菅万別様の字をうたてよませあつう倍えられ
もあつと云々めあつとせよよませよわらせめつきたる

き **澤** ヒヨシナフヤ **重々アシマリ** うしてあり **澤** イヨ
あり

イヨワルイ うしてあり **譯** ヒヨシナフヤ **メイワクチ**

う **新** スコシモチガワヌ う **新** マコト

ニセ又 注 又里ト同 う **枋** **樵** 契云未必のニ字を樵仙
空庄よううがたとよめるとや

ニ云あつ未決の詞ありうとやうられけ詞をよめるおあよの字あど
あて又あよふられうの味の出るやもうううとんハそてよめる
ふあ多し和名は沫雨濼上沫起若覆金盆加多万もふや多我
多字多あ多あどあつやこれハかの字よこれあつ〇うううハ虚
象の意 **枋** **樵** 後の名まうううあつとあつ **枋** の字
あつとや **枋** やよとて物のうとて過うと云と云うカ
ある

詞 **新** 里ト同

う
ち

らちちち

材

樞契云万葉集は折延とも歩經とも
昏り久しく引くもよきあり

らちちち

新

シマイモシレズニキリナシニナガクト

らちちち

梯

サリサリやうたるちとやうア倍もあててめぐる又如合
がらよると云が如くすてらちと云はむは他るちち

らちち

け

新 ヲキガケニデアイカシラニ アテジマイニ

譯

ソツジニサツ

キヤクニ

根ナイフノフトシタ思ヒツキデニハカニ

らちち

新

チヨツト

トニト ちちち

譯

ちちちけはまもやま意又ツイチヨツトと
しちちちちありけはの発決まふちち

かききあうふうハ振むくちちあうのこ
ろにかききサツハリ不残とんちちあり

らちちち

譯

立ッタ事セヤク

らちちち

譯

立ッタ

らちちち

ちち

新

クツレカッテ タラレカッテ

紀は徒倚
ちちち

らちちち

寸根

ク負うちちあふちの
のちちちちち

らちちち

新

ラリワルウ

材

国あう合せぬ
ちちのちち

らちちち

新

アリアワサヌ

グワイノウ

ルイ ちちち

新

ハダユリス

キラオカス

ネロラウチアケル

らちりー 新 ナニベモク ちちりー 新 ミウゴキスル

らちりー 新 ホウビヤル ちちりー 新 アトカラギキニ

ヒツキキニ ちちりー 新 すぎのうみやを反せくすくハ
つくちりー ちちりー ちちりー ちちりー

らちりー 新 ツイ見ワタスニ ちちりー 新 ちちりー

よこいーりがまふいひくつまおとあつまとあつちりー ちちりー ちちりー
よこいーのくま 琴ひくちりー ちちりー ちちりー

らちりー 新 ホットモモ 源 まいのあつちりー
ちちりー ちちりー

新 ハタキスル ちちりー ちちりー 新 ナイ ちちりー 新 松

明りすてあつちりー ちちりー ちちりー 新 拾遺は定家各のちちりー

ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー

ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー

ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー

ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー ちちりー

しよのいふ

らちめ

〔蟬〕和名は袷をよめり又作袷婦人上衣
也と記せりされど男女通用せり大袷小

袷あり侍中群要等
の書は委く出づり

らちめ

〔拂〕

〔箇〕男女

らちめ

〔材〕

〔関〕江よぬ衣束はおでまらや蹴らちめ
本更らりゆらちめとそあり板略放

〔新〕

ツヤウチノヤウス衣

らちめ

らちめ

〔材〕

〔蘭〕らちめとよらびとありまてらちめ
詞は石の字とけたるは俗まんがらものと云

詞はあいらと云
やぐての義ともいふ

らちめ

〔新〕マニサラニ

〔譯〕

ヒタスラニ

らちめ

〔新〕ゲニサイニ

らちめ

〔譯〕

源氏物語湖月師
記云いづもあち

らちめ

〔新〕カハリヤスイ心

〔譯〕

ツヤウ気

〔材〕

万葉は現心と云ふらちめとよめらちめ
あちぬんをらちめらちめらちめらちめ

らちめ

もちめ

〔譯〕正タイモナイ

らちめ

らちめ

〔格〕

〔六十九カ〕

浮舟の君のちよけ人の流はるせぬものふらちめ
格せまを今より後又今も志られてよのつみの人あり

ついでに末の世に浮舟君の現人となりて後のちよけ
貴ある泉のちよけと云ふるせぬものよらちめ人あり

射面 芙蓉泉のてしつゝあつしあまうくしいたしな一ぬふの末世といひ芙蓉
る泉といつる上文はやうやうせうし人々あひあしややいあんあ
ぬふあひりやうやうし一強もあひいしきひうまの但花をよ伊井
冊そのよまゝあは入ぬつと湯神のとまらひ強つるも又えりそれ
薫浮舟忍のちよよせはつとやあつ、
芙蓉ある泉とあふりあつておる也

ヤウナ 現のまま 枋 因平生のまじりよそ居
とまらう とうちあつとやまらう

アイラレイ ふうふうふうひねる 新 テキ、
物とぬふ ふう ふう ふう

くしき 新 キリヨウヨシ ふうふうむ 譯 カハユカル

うろ子 譯 移之若紅糸よハスガレル子木葉ハ
色カハル人のん純カハルをもしふ 新 カワル イロ

ガハル ふうふう 新 カワル ふうふう 新 ホウガラナ ふうふう

新 ウトロナ ふうふう 新 ウネル ふうふう 新 ウツケニル

ふうふうぞめの ふうふう 枋 あーとまじりまうつーおまじり
あどとせとまじり ふうふう 枋 やあう和名は後鞍ハ唐鞍とら

つしつらあつとんやうふう 鞍ハ隨身のたつとるよおくとんやう

白万のすしれとらうふう 枋 ああひとあつハ蓋ぬのとあつ衣あつ
ふうふうあまなつ 枋 舟 印 櫃 印 杖 とそまじりちたつ
ふうふうあまなつ 枋 舟 印 櫃 印 杖 とそまじりあまなつ

うね

うねめをんふら〜と

栲

買女院人の途に宋女より手格
ある女房あり宋女の法より真

ほろむをうゝ采女を采擇其容色之女也
又又^{ウチヒ}童の美ともつゝ又うねどもあり

うも

うも

栲

うもらうらうらりれなをけりやあつ契云万葉集

ハ又うらふも妹もあつてもし(うも得羽ををりかける)
よまは表^{うら}辺の意への字九まかよの歌よ音便よりむ(まね)

うもハ

新

オモテムキハ

うも(たもき)

新

ジヨサイノナイ

ツクライ

ケガナイ | アリノマナ心

うじ

うじに

新

ハジメテ

うじふら

新

ハジメテミル

うじ

くし

漢

ハツカシイ

うじひらき

栲

ものあれぬあつうハ
あつう人のひらき

ぬもていつううむとハねと去生目の美ありとも
しつり假名まうぬと去と久と誤れうむ

新

シヨシラシイ

モノナレヌ 多くハハ
サマシク

ういぢぢ

病起 ヤマイアガリ

病の愈てもどめてさ
あやむと去今も病之

ウイダチ 病起
あり ヤマイアガリ

うふ

うぶやちひ

材

園 礼記内則糸接の字ぶやちひ
とよめり産ぶものや終るをさす

新

ウブヤノミマイモノ

う

う

新

ウワカワ ウワベニウ

あう人のうち
と去ナレあり

う

新

オモテムキハ

う

新

ウモエラユルサレ

う

う

概

御前ちうぐさる事と相壺巻よわ
あぶてのちやつくしぬまき死はあざうち

う

概

桐帝のさまをくつうまる内命婦之異名内裏は伺候を
さる内命婦といふそれを上の命婦をいふといふはたう

先外命婦は討つ内命婦れよふあはうと
よはうちやつくしうつあまふあうた

う

概

桐 殿上
人ろ

う

新

トウリデ

う

新

トウリデ

らづぐ

譯

をラシイニカツベラシイ

らづぐ

新

モットモツシウ

らづぐ

材

むづ古きかう(ま)を倍(ま)を理てうそ(ま)ぶ(ま)こと(一) [ウ]こ

わづらひむしーしーもてかー

つとあもる理よりあま

らま

らまや

新

イマかく

らまぞひ

材

随(ま)小(ま)ねりわ(ま)ら(ま)と(ま)馬(ま)

ひらひらひのす(ま)こと(ま)あ(ま)と(ま)あ(ま)わ(ま)ら(ま)り(ま)中間(ま)の(ま)す(ま)る(ま)ら(ま)り(ま)

譯

ロツキ

らまむの

おと

材

園(ま)左(ま)右(ま)の(ま)馬(ま)場(ま)の(ま)お(ま)と(ま)あ(ま)り(ま)中(ま)取(ま)少(ま)將(ま)着(ま)座(ま)す(ま)所(ま)あり(ま)

らばのまふむけ

新
セニハッスル

らみ

らここ

新

ウミムカウ

らこま

材

因(ま)海(ま)松(ま)ハ(ま)ら(ま)り(ま)と(ま)り(ま)

らむ

らむ

新

ホットリシテ

らんと

材

お(ま)ち(ま)ー(ま)ら(ま)ん(ま)ー(ま)と(ま)と(ま)あ(ま)り(ま)契(ま)云(ま)枕(ま)着(ま)紙(ま)

よきんどくともいふ又はお徳よくてともいふをよ
河よそ出の字やとくさうとくといふとくを通に **らん**

新 オモヒツメテ ホツトリシテ **キカツマ** 禁 **らん** **譯**

アイサウツカス 石川雅をさうんかうと今も東
人のおふあきしうとウミシテとさ **セイキラス**

らめ

らめ **新** をさうましく
ものさすや **らめ** **新** **新**

ベシモボヤク トイキラウツケテスレ **澤** うら
な

らめ

らめ **新** 園こはらぞうんす
これの月夜はさやけしうめとさうとさ

新 ウツトシイ 源 **新** 月夜はさやけしうめ
らやあふもれやとあり **らめ**

新 因らめは禁
ありしむもれ **らめ** **新** **新** **新**

クツナ ウツトシイ **譯** **クツナ** **新** **クツナ** **新**

ツシテワルイ

のまされしものもたのくあり

同ーまきしものもたのくあり

人のまきしものもたのくあり **紅葉** 赤と人の

とたのくものもたのくあり **松** 人をくらりしもの

宿木の巻しものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり

新 ウラヤマ **新** ウラヤマ **明** くら

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

くらやみくものもたのくあり **新** ウラヤマ

るさき 新 キブサイナ くるもー 譯 キットニテ井ル

本ハ災麗めんあれども
中古の物々々めけ

くろもーむ 譯 中ヨウスル くるせく

譯 キットヨロシウ くるパー
くふ似る

くれ

くもー 新 ム子シナ くれをーき 新 ノイワクナ

ナサケナイ くれ(わくる) 新 ナサケナイヤウスラエテヤル

くれふる 新 ナサケナガル くれー 新 ム子シナ くるも

たき 枅 つれあきけけーきめーきふやあー多ク
あーる切之目本紀は概の字とよめり喜及痛の義あざし

くれー 例 雜有 糸 くるもーき 新 ウレシイ 古人が自他
よりけて云

くれ 新 トンボウサキ 後のころら
あふもこれこ

くる

くるぶく 新 カワリニウエル 茶本 くるあちめて 新

植 | ウエナエベテ

於の部

詞乃志幾奈美

第の巻

第の巻

おいらの 律

菜 ぶどてうく おいらうま ねびー たてぬひ
 らん あうに河海人こやま 老らうとこ
 けうこれさにあいぬおびもたきりー ねねひもそあ
 少いさやあう 繁去只老らうあまー け物清まあま
 上河うとら老らうにそてけいねびもたうの准らうま
 多叶もぬ不多うまー 牛取お清まうらや 娘や意ひ
 たるあ人の人々牛とるおあて 石神おどくまきりやせい
 ひけう時以子たち上達ぶまうて おいらうにあうらよま
 かあうまきりやのたまぬとひひそらんて 塔瑞り
 ぬらあう 於以とうまて 於比とうら 老らうのんを 用あべ
 一 假字をとたまぬは
 たくひのまらひあう

譯

大ヤウナ

何ゲナイテイ

おのー

譯

おむうーのおむうーも趣のーたよりを
うーやハ別がうーををー貴教を

さまを

オモシロイ スイタフウ

おー

材

いふおむうーの義もおむうーおむうーあや
去よりおむうーおむうー面白く魚
あるこゝろおむうーをうーと答ふ可笑の字を
其名伊勢おむうー又東鑑は事咲と大とをうー
ゆゑもよめおむうー其本ハ異あれも後ハ混し
用ハ双紙おむうー多字詞おむうーハ字ハ随テ解

新

ミトコロアル

おま

おま^掟

譯

サタメ

おまてし

掟

掟てあれま
掟ま

おま

譯

つらも活くおまを定めて人よいつ
くまも又ん申よ受候まらまも子掟の

話語まか
りたるあ

おま

新 ヤメニシテ

ソレハソレニシテオイト

おま^新

新

オキバカナイ

おまよま

新

オキワスレ

譯

オキウミナウ

お記ふ

新

ネルニモオキルニモ

おきうら

新

起オキトモナイ

お

まもあぐら

新

ものこうま
仲るま

アタマモアゲズニ

あま

さび

新

トシヨリラミウナル

おきあび

侍

貞おきあ
びたる声

よぬつくとま
こゆるとあり

公羽メキ名声ナリ

おきあびたる声

譯

年寄ラシイコワ子

おきあひて

新

トシヨリラ

シウナル

おきあび

材

貞おき申川とちきり
あふよりあのみたえド

とあり契之水原板等と契中のとあり流ハ大糸流あり引と
ころのあハ万葉オニナありて柞吉奈我河波と昏り日本
紀才サハ去男依等與近江軍戰息長横河破之延喜式第廿一
諸陵式之息長墓舒明天皇之祖母曰廣姫左近江国坂田郡是
を引合て考ふるにまの坂田郡ある息長にあり万葉は
奈我やうけるも長そ中まのぬ沈るるふ水なるも
息のちきものふを枕河よあけしあや万葉は
おきその凡とも之れも息長川と云ふ

おき

の

譯

拭二買

お

けたらひふてもあつて一門の女房はまれの時ハラウを
 をあつちゅううんざーちどして姫友やいたまきあどき
 (おくり)

おこ

(おこ) 例 アヤマリ 不沙法 (格) あやまらうや
 譯 ありあうらう

フラチ アヤマリ ブサタ ブサタノコトワリ
 あやまらう沈文を
 急状とらうらう

へ 病 (おこ) 病 病 病 病
 したる 譯 病 病 病 病
 新 トギレル ツドイテ

イカス ナラル 病
 へイユスル 病
 平愈

おたふ

(子) ズキヤウスル 多くハ佛道系のもよめり
 又行法の義なり 源
 (おこ) 病

(例) 取計 (新) シゲト (おこ) 病
 (新) 行カ 注 行
 りん 業まらうらうの假名臘の字あうらう
 おたのちひつむれを臘と云臘ハとやたらうらう
 (新) ギヤウリキ

おあちひちと **栲** 蒸北山あんあまうき寺と子所
にうーこまおこちひ人傳あり
行人 **おこちひ** **譯** 取ハカラフ
あり

おさ

おさ **新** 泪ふつねよよめう又後
けくそくをわさてとあり オサエル

お

お **新** 紀尔慈業王の御業のきりきり
たりとれおとまのつハル **檢**

張 **お** 園廿五うきふかおのの
とれおとまのつハル

新 ワロチナニ **ト** レコレナニ **ワ** コニ

お **新** オシタヨシテ **お** **新** ワケ

メ テナニ **ト** レコレナニ **ワ** コニ **ヒ** ヅクルメテ **譯** ヒ

ツ クルメテ **一** 統ニ **お** **お** ならす **譯** ナニ

おた

おたぎ

桐 八ヶ注小島部野をこしやを望み初名地
寛容郡赤松の別赤松名之御あり

おたぐ

おた

のちやふあごーくそあり
おたよふんやまごてとあり

おた

おた

思ひありて侍りあり
おた

おた

おた

けい

おち

おちあふれ

おち

橋 ありあふれとすすらうんあり
おちあふれとすすらうんあり 崇神紀

のちあふれとすすらうんあり
おちあふれとすすらうんあり

おちあふ

新 オチブレ

おち

新 橋木葉

オチコクハ

おちこころ

おち

野 ありおちこころありては
俗に病の

おちこころ

おちこころ

おち

おち

新

オチフレ

おつ

あつ **新** コハガレ **おづ** **新** オツト

おと

おと **新** あづき **新** 国ニウサ しんこくニウサ

さびかみ溢の字もそんが **新** あづき ワルイニムケ

又 ハ子ノケテニマハヌ イウ又物モ今物ニセヌ **おと**

枅

東

直衣のほそそれ あつ あつ **おと** **新**

イヒヲロス **新** トリオトス **おと**

枅 **新** オト 何事ぞ

シノタ子 **おと** **新** オトガスル **新**

御殿 **おと** **新** 年バイ十人 **おと**

譯 たらこい おとろ 成人のよきまふて おと

なびん 材 歸人あり あつていふ おとろ あつていふ

早ク進ま おとろ 新 千五ツイテオトナニウ

十ル おとろ 新 リツシンスル おとろ あつていふ

材 菜下百三ウ其半ふたんぬん おと 新 あつていふ

あつていふ 新 オホヒヨウハンソ 評 新

サニキツ おとろ 新 オソワレル ヒツクリスル 紀

新 おとろ 新 フイヨウウツ おとろ 新

フイヨウウタレル おとろ 材 歸 あつていふ

あつていふ あつていふ おとろ 譯

仰山ナ おとろ 新 コハイ おとろ

新 ミスボウシウナ 新 おとろ 新 フケイキナ

オトロヘル **新** ねろぼよふ **新** シタメナ **新** おとら

新 マケル

あな

あな **新** オナシア **新** オナシキウネ **新** オナシヨウモク

おふ **新** オナシナラ **新** おふ **新** オシ

ナシキムキ **新** おふ **新** ドウブクテウテ

おふ

おふ **新** オニノヤ

ウナ **新** ドクシヤウニ **新** ムゴウ

おの

おの **新** ジシン **新** ワシラガ **新** 世者が **新** おの

あ **新** 帰 **新** おの

おのりてまゝ **新** 自らの心 **新** 心

後 年よりいへば おしあそび 新 ハエホス あま

て又別 おひーげる 新 ハエシゲル おひて 新 ヲヒ

カケテイテ 新 おしす 新 女 遊 おひて

す 新 男 おしんぐし

て 新 アトカラテキニ 新 おし 新 テヨウトヨイ

コロアイ 新 おひ 新 オイカケテイテ

おし 新 文 新 あし

新 文 新 あし

ナカキヤウ 新 文 新 あし

新 文 新 あし

シラレス 新 文 新 あし

新 文 新 あし

新 文 新 あし

① 譯 負けが... オセウマシイ おぼろ

② 新 トリミナリカナイ おぼろ

表ムキ ナホサリ おぼろ 譯 オボシメサレル

おぼろ おまけけれ ③ 附 暗てい即辞におぼろ

おぼろ 志ほこ ④ 附 夕十ウ思ひほろしんをれ

おぼろ つめたる ⑤ 振 つめたる

⑥ 譯 ゴレウケンツケラレル おぼろ 譯 同格

ニオホシメス くれのわがしん思ひとん向身 おぼろ

たつる 人よのよソダテアケル おぼろ 譯 申ニ付ル

オホセ付ラレル おぼろ 新 イヒツケル カツケル

おぼろ せがみ 新 ダイヒツ 代筆 おぼろ 新 タ

シニツカウテ おぼろ 新 オホセツケラレル

たふせられし 例 被作れぬ おほきつちなる

栲 帝 四オヤんるをせらるるトのりもあといふ

くもりしあり表向なる所より誤る可なり
りまみし或はおほきつちの法を十を以て
りまみしと云ふなりと云ふ或は日記を以て
くもりしありと云ふなりと云ふなりと云ふなり
らくしありと云ふなりと云ふなりと云ふなり

帝 栲 梶の字をいふつちをいふしと云ふなり

おほきつち 新 コロモトナイ ガテニ

ガユカス オモヒサダラレス 譯 シカトシレス ニツカリト

セヌ コロモトナイ マチドホナ おほきつち

新 マシギナ おほきつち 栲 ふみやをわけしおほきつち

ほとちとてい 栲 おほきつち 譯 大やと云ふ

おほきつち 新 ドレトナウ メツホウカイニ オホハ

へニ オホヤウデ おほきつち 栲 帝 五オろちおほき

オヒルナツテ

おぼよのたもろ

新ギヨシニナル

きんじん

譯

ギヨシニナル

大ぬき

新

キガオホイ

おぼのちり

まけくはち

材

困大ひちりまきくもちの笛あしおひ
ちきよ吹あけつとあま今の筆筆よ

り大あうり昔あうけりしり尺八も
一尺八寸は切たるよて尺八も

おぼ

新

フサグス

ツホリトカブセル フタニナル フタニナル

おぼ

譯

おぼめ
くろり

トボケガホスル

おぼ

新

ハマル

古今長哥波のわよ
やあきん又後よ洞よ

もよ

おぼめ

材

圍笑去後拾遺よ新笑女涉友のごとお
めめれや世の中よつとまんとうきつとも

せぬさぶらうあらざ
いめうあるうあらう

材

したたあすほのうある急之後拾遺よ
おぼめくは流ともかくてうひよ友

まごぞせ入

新

キハメラヌ

ドレヤラヌ

譯

トボケガホ

スルおぼ

おぼめ

譯

シカトシヌフデブアシナ

イナ

おぼおぼ

材

夏おぼみおぼのほとりも
はるしとあうい

ハ謂清器と虎子之屬也今按俗語虎子於保都保清器師

乃波古らまられハ大虎子あり河海ハ尿壺オホツホ花鳥ハ大壺

尿壺の字出所しも志しず清器ハ世よまきいあり

事しよ宇治拾遺しもあるサの人ハ麻呂とくせけハもい

せぬ日としこもあきしけらあり志のむこもい

とれハまきいありとせしとてとも物の名をも畧

しよまきいあり也以上賢流志のともち私管あり類聚

雜字よらえり今云オホツホ新ニヤウベツホ和名大虎子

おのん **材** 菜つかの腕盤の類 **おつ** **つば** **新** 海ふげづらる **新**

クワン井テノシアゲラレル

官位

おおや **人** **柙** 柙 網をよけ **新** ありる人あり

おおや **け** **オモテ** **ツタ** **コウギムキ**

お **い** **や** **け** **こ** **こ** **格** はあやけもまき法界

お **い** **え** **ど** **材** 因大江殿あり難波あり伊勢

お **い** **え** **た** **材** 監あはえと人似と

お **い** **え** **新** 人望 **オモヒ** **譯** 思われ

お **い** **え** **新** **オホシ** **サ** **お**

上ノオホシメシ又
世間ノオモハク

申え凡 譯 思ヒガケナイ お申え凡 譯 申え凡

例 無存掛 おのめ 新 ウリフタツジヤ おのめ

新 オモヒアタル コロニギツシリトアタル 音おのめも非 代おのめも非

いさこ おおとく 新 ヒトヲリ ゼンタイ タイ

ガイ おおとくそびり 材 葵凡人をり 葵之後撰 恋四忠房 君の名のた

比まどぐらふき 牙あし せハおのめ 新 ヒトヲリノ人

おほらう 譯 大サヤカ おおとくと 本まほらう 新 おほらけ 材 菜

ろけあらでまうとあひんむさるしう 記をとあり 葵云
始おほらけよのつ称をさおほらけはてまといか 葵云
事たぢひたるやま字ゆる詞之細流はおほらけぬる
らてまといとありとあまき注の詞とてまおほらけすべし
に、あぬ詞ありおほらけはあこのまありまもまかか
まといとありとあまき注の詞とてまおほらけすべし
らてまといとありとあまき注の詞とてまおほらけすべし

ケノセ又 セウくハ おほらえまよら 新 セウくデハ
一通り おほらけの 新 子又

おほらけあらそハ **新** セウくハノコテナウテハ

おひらけならん **譯** おららるゝはと回意 **和** ナニ大テイテイ

おろけあぬ **新** ネヌケシタ **お** おろとの **材**

大炊殿も食事と者たまきとる
祈もそ今も子心あり

おも

おろ(り) **例** 御答 おろ(り) **例** 御答

おん(り) **材** 国貴人をたふ **おん** くだもの **材** 木の実

志(り) **材** りみてと詞 **おん** くだもの **材** 木の実
志(り) **材** りみてと詞 **おん** くだもの **材** 木の実

おん(り) **材** りみてと詞 **おん** くだもの **材** 木の実

おん(り) **材** りみてと詞 **おん** くだもの **材** 木の実
おん(り) **材** りみてと詞 **おん** くだもの **材** 木の実
おん(り) **材** りみてと詞 **おん** くだもの **材** 木の実
おん(り) **材** りみてと詞 **おん** くだもの **材** 木の実

とにいりあんなさいいーちとしいいやりたりたうたれハ鬼の画やう
てやうとて一糸^意ーくまうとをたよんであくさめよふ
うちとけてあふ顔あう返一伊勢可あんとはいし
んやまとまうーちうらぬけのうやまあうーちうま

おんたてまう^譯御装束えおんそ^柵サセウ御衣あう

おんたろ^柵太帝と^菜嫡男を おんめま志多人のや

のま^柵まーめまは月に加味の方なりやうの方ハ本方
と加味方と西方あうたまもの黒方侍従あう

とい^柵おんゆ^柵明^明之ひふくさめやうあんとやだよあれと
あう湯と茶のこまう下のくまうとあ

すほ おんど^柵衣類を
おん^柵衣類を

おも

おもが^柵寄^寄女のもぢらひて
おもが^柵寄^寄女のもぢらひて

おも^柵カホガアハサシヌ ハツカシ

ガル おも^柵カラホカクシテ おもが^柵

や^柵寄^寄サハウ契去万もあう十二ふむれおも^柵行^行ま^ま猶抱琵琶羊

面^{オモカ}

おもくげに

新

トウヤラミエルヤウナ

おもぎ

ら

材

菜^四オちこのおもぎらひとあり
小児の急ぐぬ人をえそむる

譯

小児の急

おもぎらひする

新

ヒトオノスル

おもた

新

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

材

頁^五オそ人のむぎ
のめこそりある

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

材

其事小源く
たちいりあり

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもた

おもしろ **材** 末サ五才様しもうちあるおもしろいとあり下早なる面体としふあり **新** カホ

ツキ **譯** カホツキ **おもしろ** **新** 面の瘦る ヤセル

おもしろ **新** カホガヤセル **おもしろ**

材 標 まぶらうく画目あきさまちり世上、款のあき

おもしろ **新** カホカアゲラシ又カホ出

シガナラヌ **無** **目** **おもしろ** **材** 標 笑云おもしろ

う(た)る詞あり 仲文家集よあふ伝わくをよびてらくの **おもしろ**

譯 外フニヨキフ **おもしろ** **新** ノレボクヲツケル

おもしろ **材** 歸 十オウヤヤヤ人よんえをわめておもしろ **おもしろ** **新** ツラダシ

目あくやあんとさる 後撰 **新** ツラダシ

ガナラヌ **譯** ツラヨゴシ **フグワイフ**

ン **おもしろ** **新** 後 小花のおもしろ ソレボクヲツケル

おもむきよ
新 ツキヤイニヨントコロナウ
おもむ

ばと譯 存外ナ
おもむきずらるる
譯 大へこナコト

ケシカラヌ
おもむ
新 父母兄弟ふど
のこ牛ふり
忌中
キナウ

おもむいづる
新 カウマシブル
夕カウトマル
譯 キラ

夕カウモツ
おもむいす
新 オモヒアハス
思ひあ

まの
新 ヤツポウツキテ
夕マリカネテ
おもむいそ

新 シヤシシレテ
おもむい
新 オモヒコム
おもむ

いぞろひ
新 オモヒダシワラヒ
おもむい
新

オモヒ出ス
おもむい
新 ホツトリシテオモ

ヒツメテ
おもむい
センドクツタクシテ
おもむい

よびぢぢ
材
笛 せおりや
おもむい
譯 ス井

リヤウシアテ
おもむい
新 ス井りや

おもひで **新** オモヒ出ス夕子 **お** おもひとち **栞** **桐** **サ** **ウ**

西方ともルよ **新** フタリ同シヤウニ思 **お** おもひとち

あうどち共の字 **新** オモヒトマル **お** おもひとち **栞** **桐** **サ** **ウ**

あう **新** オモヒトマル **お** おもひとち **新**

オモヒナシ **お** おもひとち **新** オモヒナシ **お**

い **新** コロナシ **お** おもひとち **新** オモヒナシ

譯 シウケニラツケル **お** おもひとち **新** オモフマニナラ

又 **お** おもひとち **新** オモフ通りニナル **譯** レウケン

カツク **お** おもひとち **新** クツタクナシ **お** おもひとち **新**

ア **新** おもひとち **栞** **桐** **サ** **ウ**

と **お** おもひとち **栞** **桐** **サ** **ウ**

新 コラ **オ** オモヒ **新** **譯** 色々

ハ礼をととのつる之膳と物ものともむ飲食の物と
之膳とて今うしをいふらふとさものよとあり
おも

材 さる世の物ともあり時の望ありて物と物と
くづむし徳のある人ぐらとむいふなり
おも

〜ろく **新** オモシロイ **おもむある** **新** オモハル

おも **新** モツタイノアル **おもり** **新**

モツタイノアル **おもり** **材** 人がうのおも **譯** うららうの

おも **材** 蟬やう婢あり俗小さくもとの物と又次よけおも
とくふ老たるごたちのおも **おも**

おや

おや **材** **零** 親がむとむとを立案にがうハ権の義と
北山抄は擬大小領の擬の字とありとむ

う如く **おや** **新** オヤガホラスル **おやのう**

材 卍おやのう子とをまものにさそとあり親のあり
娘をんぬとありぬとあり万葉十二は **おや**

ちねのちうらうらこのおやもいふとあり **妹** **おや**
すぞとつるおの詞とあり **或** 流中宮のいすめを
不とありとありとありとあり **おや**
但本交を親のまもる娘をよそたり **おや**

ひく **おやのけ** **栞** **桐** 父母の喪をいふ孝の字あり
 り **おやのけ** **栞** **桐** 父母の喪をいふ孝の字あり
 膝とまゝおやの契注は親の
 出ろしとくも亦通ず

おい

おいぬ **新** トシガヨツタ **おい志** **新** トシガヨル

おい志 **栞** **栞** 老人の **栞** 老人の **おいう** **栞** 老人の

新 コシガバム **おいのひぐみ** **栞** **栞** 廿四ウ年老てん
 のいぐむたより

およ

およぎ **栞** **桐** **桐** 六オこのもこのおよぎもておのしと
 あつとあつと契云万葉は助及とるおとるびとる

とる詞のを詳おとねどおとるしとさまあり

およぎ **譯** 小兒まよ **ヒトナリテ** **チエカツイテ**

およぎ **譯** オトナシヤカニ仰ニヤル **およぎ**

けたる **譯** 小兒のコミニヤクレタ
 とを割する詞あり

およすげゆく

新 セイシンスル
成人

オトナニウナル

お

よひ

譯 及ビゴシ

およびて

新

オヨヒコシニテラ

ノバシテ

およひ

枡

歸 およびてをひきとてく
ひては

注 誤れり和名は指ハ和名由北俗云於与比季指和名古於与比
小指第五指也こまぬびと物々々およびといふさくさの指とも小
何のおよひと
新 コビ 今云小指はあはれ五指ともおよひといふこ
小指のこま和名は小於与比と云り

おり

おりのたち

枡

頁十五ウ倍ませいで

新

コミイツテ

セイダシテ

譯

フミコシテ

ハダヌイテの

おりの

新

ハイル 田の中
のちと

おりの

新

アカツタ

りオリタリ

ねる

おろ

新

オリル

サガル

下宿

おろろろろ

譯

おろろろ

おろろこめ

新

スツコエテ

おろ

ろろろ

新

ヒヤウチウ
病中

